

こ に は  
ん ち

# し も す わ 町 議 会

で す

## \*\*目 次\*\*

主な議案の内容と審査内容	2
議会基本条例を制定	3
平成26年度予算審査内容	4
議会報告会の開催	5
議案、陳情、意見書の採決結果	6
提出された陳情、意見書の内容	7
一般質問	8
各委員会の研修視察報告	14
議長のつぶやき・議会雑感	16

VOL3 平成26年(2014)4月25日

編集／議会だより編集委員会 発行／下諏訪町議会

電話(0266)27-1111 FAX(0266)27-1237

<http://www.town.shimosuwa.lg.jp/gikai/index.html>

## 三月定例会

平成26年度3月定例議会を2月24日から3月19日までの24日間の会期で開催しました。

一般質問を12名の全員が行い、「平成25年度一般会計補正予算(第10号)」や「平成26年度一般会計予算」など28議案が審査され、また町から提出された追加議案2件と委員会から提出された議会基本条例が最終日に審議可決されました。



「入園式」友達いっぱい作ろうね!

# 総務経済常任委員会 主な審査内容

委員長 林 元夫

議案第2号 「下諏訪町赤砂崎公園防災ヘリポート条例の制定について」は、運用範囲に誤解のないように、規定などを整備するとともに、安全対策に万全を期して欲しいとの要望がありました。

議案第3号 「消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例について」は、今年4月1日から実施される消費税率の改定に伴い、町において使用料など6つの条例について税率等の改定を行うこととしたため、一括して整備する条例です。討論では、上下水道などは生活に不可欠なもの。ガスや電気などの料金も上がるので、せめて上下水道料金などへの消費税の転嫁は避けて欲しい、と反対討論がありました。消費税改定は国の施策であり、国のルールは守らなくてはならない。また、実質的な値上げではないことなどの賛成討論がありました。

議案第12号 「諏訪広域連合規約の変更について」。本案は特別養護老人ホーム恋月荘の移管先を長

野県厚生農業協同組合連合会に決定することに伴う変更で、討論では、公的責任の放棄であり、広域議会でも十分な論議がなされていないので反対。厚生連は実績もあり、安心して任せられるなど賛成討論がありました。

議案第13号 「諏訪広域連合特別養護老人ホーム恋月荘の廃止に伴う財産処分について」は、12号議案と同様の賛成・反対討論。

議案第14号 「平成25年度下諏訪町一般会計補正予算(第10号)」について、本委員会では向陽下の土地を現場視察し、理解を深めました。懸案事項であった売却が一区画だけでもできたことは良い。また、

公共施設整備基金の積立は計画性があり、理解できる等、賛成討論がありました。



向陽台土地現地調査

## 生活文教常任委員会 主な審査内容

委員長 中村 國彦

議案第1号 「下諏訪町高浜健康温泉センター条例の制定について」は、26年4月運用をはじめセンターの設置及び管理について、必要事項を定めるため制定するものです。歩行浴プールなどで特色を出しての運営を願うとの賛成討論がありました。

議案第5号 「下諏訪町国民健康保険条例の一部を改正する条例について」は、地方税法施行令および施行規則の改正に伴うものです。

議案第6号 「下諏訪町手数料徴収条例の一部を改正する条例について」は、身体障害者補助犬法の範囲拡大で、盲導犬のほか介助犬、聴導犬も狂犬病予防注射の料金等を免除するものです。

議案第7号 「下諏訪町老人福祉センター条例の一部を改正する条例」は、電気料金・上下水道料金等の維持管理費の値上げに伴い入浴券一枚10円・11枚綴り100円アップに改めるものです。

議案第10号 「下諏訪町立博物館条例の一部を改正する条例」は、歴史民俗資料館・今井邦子文学館の入館料を無料にするもので、町の活性化につながる事で、期待するとの賛成討論がありました。

議案第14号 「平成25年度下諏訪町一般会計補正予算(第10号)」は、高浜健康温泉センター建築の県補助金一千二百万円増額等です。

議案第15号 「平成25年度下諏訪町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)」は、人間ドック、脳ドック補助金の対象者増による疾病予防費69万円を追加するものです。

議案第17号 「平成25年度下諏訪町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)」は、基盤安定拠出金の確定に伴い増額補正するものです。

議案第18号 「平成25年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)」は、4名からの寄附金10万円を基金に積み立てるものです。

●3月定例議会  
全31議案採決される!

# 議会基本条例を制定

これからの議会に求められるもの

議会運営委員会 委員長 小池 忠弘

## 前文

下諏訪町議会（以下「議会」という。）は、町民が町長及び議員を直接選挙で選ぶ二元代表制のもと、町民の意思を把握し、町の意思決定を行う合議制の機関であり、町の政策決定や事務の執行を監視する役割を發揮し、政策形成における提案、提言に積極的に取り組むなど、真の地方自治の実現を目指す責任と権限を有している。

地方分権の時代を迎え、町民や執行機関との信頼関係、協働の精神が不可欠であることから、互いを尊重し合う民主的な政治の場として、議会の公正性と透明性を確保し、町民に開かれた信頼される活動を行うなど、町民の福祉向上のために議会の果たす役割はますます増大している。

議会が持つ大きな使命を確実に達成するため、不断の改革と創意工夫に努め、町民とともに行動し、その負託に応える議会の実現に全力で取り組むことを決意し、ここに下諏訪町議会基本条例を制定する。

## 条文の骨子

本定例会で委員会提案によって「下諏訪町議会基本条例」の制定が議決されました。議会改革の一環として、開かれた議会を目指し、議会活動の活性化や透明性を高めることなどを目的に、議論を積み重ね懸案事項になっていた条例化に至ったもので、4月1日から施行されます。

条例は前文と16条から成り立っており、前文で基本理念を明記し、議会の責任と権限など位置付けや議会の果たす役割、町民に開かれた議会、信頼される議会を通じて町民の負託に応え、町民の福祉向上のために議会のもつ使命を達成することに全力で取り組む決意を明記してあります。条文の骨子は次のとおりです。

第1条の目的で議会および議員に係わる基本事項を定め、その活動が町政の発展に寄与すること。第2条で議会、第3条で議員の活動原則を定め、それぞれの果たす役割や規範を明記。第4条で議員の政治倫理として「良心と責任感をもって、議員の品位を保持し、識見を養う」ことに努める。第5条はパブリックコメントで寄せられた意見内容を条文に盛ったもので「危機管理」大規模災害等への対応に関すること。第6条は町民参加と町民連携について、開かれた議会をすす

## パブリックコメント（抜粋）

**意見** ● 議会は、議会での審議が中心となるかもしれないが、審議し決定した政策がどのように施行されているか見極めていくことも大切。これに該当する条文があってもよいのではないのでしょうか。

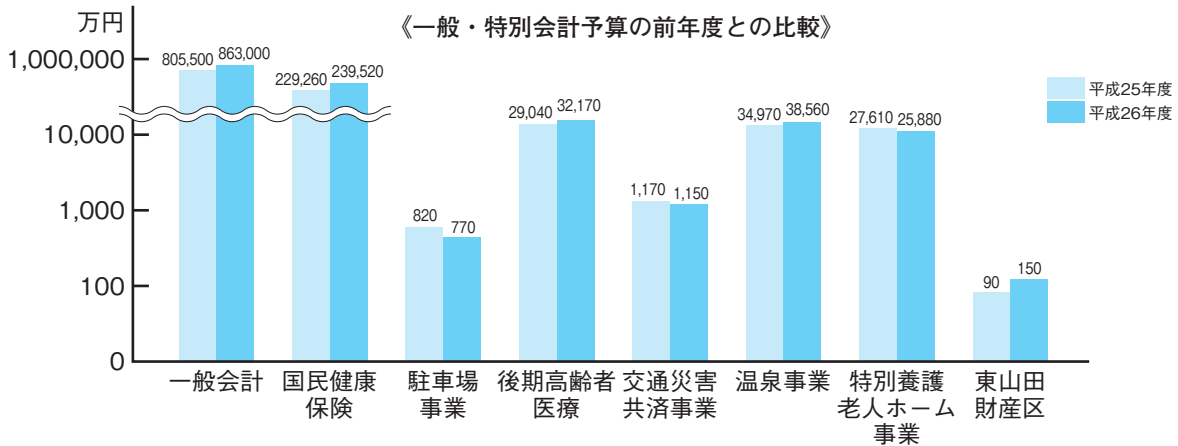
● 議会は、町長及び執行機関の職員と常に緊張ある関係を保持しとありますが、抽象的で幅がありすぎ、飾り文句で終わってしまう恐れがあるのではないのでしょうか。

**回答** 条例の第6条第1項において「事務の執行の監視及び評価を行うものとする」としていますので、その中でしっかりと政策の進捗を見極め、意思決定機関としての使命を果たしてまいります。

める上での基本姿勢として情報発信と説明責任を義務づけ、会議の原則公開、委員会運営のあり方、議会報告や議会だよりの発行等広報に努める。第7条では「議会と町長等との関係」は常に緊張関係を保ち、執行機関の監視、評価を行う。本会議での一般質問は論点、争点をはっきりさせるため一問一答方式の採用。また町長等は議員の質疑に対し、趣旨の確認などのため反問することができる。第8条は政策形成と議会審議について、町長から提案される重要案件について、論点整理や政策向上の観点から、政策発生の根拠から将来のコスト計算などについての説明を町長等に求めるとし、その他の条項では、議員間討論の活発化、政務活動費の有効活用などが盛り込まれています。

# 平成26年度 (一般会計 特別会計 企業会計) 予算を可決!

3月定例会において、町から提案説明を受けた平成26年度一般会計予算並びに特別会計予算を、本会議での議案質問、各常任委員会での審議を経て、すべて原案どおり可決しました。各常任委員会での主な審査内容を、お知らせします。



整備の進む赤砂崎公園

**議案第19号** 平成26年度下  
 諏訪町一般会計予算について、  
**総務課**に関する事業として、  
 庁舎耐震改修工事は、労務単価  
 や資材の高騰も予想されるが、  
 防災拠点として重要である。防  
 災対策への対応をきめ細かくお  
 願いする。  
**税務課**に関わるものとして、  
 引き続き住民に寄り添う納税や  
 滞納整理をお願いしたい。  
**建設水道課**では、町道東山田  
 東町線は、用地買収費などが計  
 上され、住民の強い要望の工事  
 が進むことを評価する。  
**産業振興課**に関わるものとし

て、生活応援事業は、商店活性化  
 のためにも必要。ものづくり支  
 援センターでは、緊急雇用創出  
 事業補助金を活用して、農商工  
 連携など新分野の開拓や商品企  
 画からのマーケティングを強化  
 している。  
**消防課**に関わるものとして、  
 団員確保は大変であるが、応援  
 事業が効果あることを期待す  
 る。「ふれあい広場」は、町民の防  
 災意識や子どもたちの消防意  
 識の向上につながっており、こ  
 れからも続けることは大切であ  
 る。  
**全体的**には、新規事業や拡充  
 事業の中に、町民要望に応えた  
 事業がいくつかあり、今後も町  
 民の声に耳を傾け、各課が住民  
 に寄り添う施策を強化して欲し  
 いとの賛成討論がありました。  
**議案第21号** 平成26年度下諏  
 訪町駐車場事業特別会計につい  
 ては、管理棟やフェンス改修工  
 事など、できるものは、早めに  
 やって欲しいとの要望を含めた  
 賛成討論がありました。

**議案第24号** 平成26年度下諏  
 訪町温泉事業特別会計予算に  
 ついて、消費税増税分を上乗せ  
 することに反対で、やめる人  
 も増え、新規加入も減少する可  
 能性があり、住民生活に影響が  
 大きい、との反対討論があり  
 ました。賛成討論では、湯量の  
 安定的確保をしていくなど、健  
 全な運営に努めていただきた  
 い、との意見がありました。  
**議案第27号** 平成26年度下諏  
 訪町水道事業会計予算につい  
 て、議案第3号と同様、消費税増  
 税分の転嫁には反対との討論が  
 ありました。  
**議案第28号** 平成26年度下諏  
 訪町下水道事業会計予算につい  
 て、議案第3号と同様で、滞納も  
 多い中、消費税転嫁は安定した  
 運営への障害や生活弱者への負  
 担が増す、との反対討論があり  
 ました。賛成討論では、御田町の  
 雨水対策事業や長寿命化など生  
 活に密着した事業が進められる  
 としていきます。

## 総務経済常任委員会 審査報告

委員長 林 元夫

# 生活文教常任委員会 審査報告

委員長 中村 國彦

本委員会に付託された案件は一般会計予算1件、特別会計予算4件です。

## 議案第19号 平成26年度下諏訪町一般会計予算

の歳出の主な物は「下諏訪町生活応援商品券」625万円は、低所得者への6月配布分(5000円×1250冊分)。老人福祉センター工事費125万円は、浴場の蛍光灯等の落下防止工事。小学校整備事業費578万円は、北小トイレ洋式化、教室用扇風機化及び吊天井落下防止工事。中学校整備事業費1632万円は、下中・社中のトイレ洋式化、下中教室用扇風機及び、大小体育館吊天井落下防止工事。高浜健康温泉施設センター「ゆたん歩」管理費は3463万円で、町直営で運営し、温泉療法士等を配置し、職員2名が常駐。

また、410万円で、信州大学、松本大学と連携した健康スポーツゾーン活用プログラムを作成します。南小改築事業費は、

10億3169万円で、国からの交付金4250万円、事業債4億5600万円、基金4億8514万円、および一般財源から4800万円の歳入が予定されています。

## 議案第20号 平成26年度下諏訪町国民健康保険

特別会計予算は、特定検査受診率は低い、引き続き無料化することで受診率を高め、生活習慣病の予防等に取り組む予算です。

## 議案第22号 平成26年度下諏訪町後期高齢者医療特別会計予算

は、長野県後期高齢者医療広域連合の保険料に基づいた予算です。

## 議案第23号 平成26年

度下諏訪町交通災害共済事業特別会計予算。人口減少で加入者が減っていますが、予算は例年並の計上です。

## 議案第25号 平成26年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計予算

は、厨房機器の入れ替え費用と、デイサービス事業廃止に伴う特養移行のための改装設計監理委託料を計上。職員の努力によって、健全経営を行なっています。



ゆたん歩°を視察

## 第2回 議会報告会を開催しました

1月25日(土)午後7時から、下諏訪町総合文化センター小ホールに於いて、第2回目となる議会報告会を開催いたしました。多くの皆さんにご参加いただき、誠にありがとうございました。

議長挨拶、自己紹介に続いて、議会運営委員長が、3月議会に上程予定の議会基本条例について説明し、常任委員会・特別委員会の報告を、それぞれの委員長が行いました。

報告後は、参加いただいた皆さんから、富士見橋仮橋への道路が急勾配で心配、赤砂崎防災公園の駐車場スペースが少ないのでは、「議会だより」の議員の賛否一覧は、非常に良いので継続して欲しい、また、下諏訪は高齢化率が高いので、議員はもっと積極的に一般質問などで取りあげてほしい等のご意見をいただきました。これに対し、議会として「今後の議会活動の中に取り入れ、努力したい」とお答えしました。

今後も住民の皆様が議会に関心を持っていただけるよう努めますので、是非、議会報告会や、議会の傍聴にお越しください。

(副議長 中山 透)

### 当日のアンケートにお寄せいただいたご意見(抜粋)

- 意見の分かれた議案についての説明が欲しかった。
- 議員全員の意見が聞けて良かった。
- 事前に住民からの質問を受け、その内容に答える方式にならないか。
- 町の課題や住民要望などが、どの様に議論し深められたのかが伝わるような報告会にして欲しい。

頂きましたご意見は、今後の議会活動の糧とさせていただきます。アンケートへのご協力、ありがとうございました。



議会報告会

# 一目でわかる議決結果 3月定例会

## 議決結果

議案第1号	下諏訪町高浜健康温泉センター条例の制定について	可決(全員)
議案第2号	下諏訪町赤砂崎公園防災ヘリポート条例の制定について	可決(全員)
議案第3号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決(多数)
議案第4号	下諏訪町税条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第5号	下諏訪町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第6号	下諏訪町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第7号	下諏訪町老人福祉センター条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第8号	下諏訪町都市公園条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第9号	下諏訪町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第10号	下諏訪町立博物館条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第11号	国土利用計画第2次下諏訪町計画について	可決(全員)
議案第12号	諏訪広域連合規約の変更について	可決(多数)
議案第13号	諏訪広域連合特別養護老人ホーム恋月荘の廃止に伴う財産処分について	可決(多数)
議案第14号	平成25年度下諏訪町一般会計補正予算(第10号)	可決(全員)
議案第15号	平成25年度下諏訪町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決(全員)
議案第16号	平成25年度下諏訪町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第17号	平成25年度下諏訪町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第18号	平成25年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第19号	平成26年度下諏訪町一般会計予算	可決(全員)
議案第20号	平成26年度下諏訪町国民健康保険特別会計予算	可決(全員)
議案第21号	平成26年度下諏訪町駐車場事業特別会計予算	可決(全員)
議案第22号	平成26年度下諏訪町後期高齢者医療特別会計予算	可決(多数)
議案第23号	平成26年度下諏訪町交通災害共済事業特別会計予算	可決(全員)
議案第24号	平成26年度下諏訪町温泉事業特別会計予算	可決(多数)
議案第25号	平成26年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計予算	可決(全員)
議案第26号	平成26年度下諏訪町東山田財産区会計予算	可決(全員)
議案第27号	平成26年度下諏訪町下水道事業会計予算	可決(多数)
議案第28号	平成26年度下諏訪町下水道事業会計予算	可決(多数)
議案第29号	平成26年度下諏訪町一般会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第30号	平成26年度下諏訪町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)
委員会提出議案第1号	下諏訪町議会基本条例の制定について	可決(全員)

## 陳情審査結果

平成26年陳情第2号	集団的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する陳情	採択(多数)
平成26年陳情第3号	介護保険制度見直しにあたり、だれもが安心して利用できる制度にするための意見書提出に関する陳情	採択(多数)

## 意見書案議決結果

平成26年意見書案第1号	集団的自衛権に関する憲法解釈を変更しないことを求める意見書	可決(多数)
平成26年意見書案第2号	だれもが安心して利用できる介護保険制度を求める意見書	可決(多数)

## 集団的自衛権に関する憲法解釈を変更しないことを求める意見書

集団的自衛権について、これまで歴代政府は、「国際法上、当然に集団的自衛権を有しているが、これを行って、わが国が直接攻撃されていないにもかかわらず他国に加えられた武力攻撃を実力で阻止することは、憲法第9条のもとで許容される実力の行使の範囲を超えるものであり、許されない」との見解を維持してきました。

ところが、いま、安倍内閣のもと、集団的自衛権の行使を憲法解釈の変更によって容認しようとする動きが急速に強まっています。この動きに、「戦前への逆戻りでは」と不安を抱く住民は、少なくありません。

国の安全保障政策は、立憲主義を尊重し、憲法に基づいて策定されなければならないはずで、時々の政府や国会の判断で解釈を変更することは到底認められるものではありません。

本意見書は、集団的自衛権に関するこれまでの政府見解を堅持し、集団的自衛権の行使につながる憲法解釈の変更を行わないよう、国に求めるものです。

## だれもが安心して利用できる介護保険制度を求める意見書

現在の高齢化社会にあって、老後の支えとなるべき介護保険制度が大きく見直されようとしています。昨年末には、この「見直し」の内容が厚生労働省・社会保障審議会介護部会より示されました。

主な内容は

- ①「要支援者」を市町村運営の事業に移し、保険給付対象から外すこと
- ②特別養護老人ホームの入居対象者を、原則として介護Ⅲ以上とすること
- ③特別養護老人ホームの入居者の内、低所得者への「補足給付」の条件を厳しくすること
- ④介護保険サービス利用負担の現行一律負担から、「高額所得者」は2割とすることです。

①は、市町村に任されても、それぞれの財政事情で介護の格差が生じること。又市町村としても、ノウハウがなく対応に難しいこと ②は、現在の入居者で、介護Ⅰ、Ⅱの人は、独居が多く介護する人がいない人で、行き場がなくなってしまうこと ③は、現行の食事代や部屋代の補助を削られたら、より負担増となること ④は、高額所得といっても、年金での年収280万円であり、高い部類には入らないこと等、大きな問題があります。

本意見書は、これらの「見直し」は行わず、だれでも安心して利用できる介護保険制度の実現を、国に求めるものです。

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています

議案番号等	議員名(議席順) 議決等結果	中	津	河	中	松	小	金	藤	濱	青	林	小	中
		村	金	西	村	崎	口	井	森	章	木	元	池	山
		奎	裕	猛	國	茂	峯	敬	スマエ	吉	利	夫	忠	透
議案第3号	可決(多数)		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
議案第12号	可決(多数)		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
議案第13号	可決(多数)		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
議案第22号	可決(多数)		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
議案第24号	可決(多数)		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
議案第27号	可決(多数)		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
議案第28号	可決(多数)		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
平成26年陳情第2号	採択(多数)		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年陳情第3号	採択(多数)		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年意見書案第1号	可決(多数)		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年意見書案第2号	可決(多数)		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

議案等賛成者は「○」とし、反対者は「×」とします。退席者は「退」、欠席者は「欠」としています。

議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

法律により、採決に加われない議案については、「除」と表現しています。



中山 透議員

### 人口対策について

質問 人口減に対する町長の考えは。

答弁 充分に考慮している。H18年の初就任時に、人口減に対する財政運営に耐える長期計画を立て、それに基づいて経済対策を行っている。

質問 将来人口推計は。

答弁 H25年に、13,485人になる見込み。

質問 人口増対策は。

答弁 雇用の確保、移住促進、首都圏域への温泉・自然など町の魅力発信、空き家情報バンク活用等していく。

質問 行政コスト削減としての合併の考え方は。

住民理解を得て、進めるべきこと。  
職員の不祥事に対する町民の反応は。  
批判、処分内容についてなど5件電話あり。  
再発防止策は。  
全職員研修の他、課長を中心に専門相談員も入れて対応したい。  
国道20号バイパスについて  
アクセス道路の考え方は。  
岡谷・下諏訪バイパス部分は来年度調査・測量を行なう計画。  
諏訪バイパスは、現在のアンケート後の事業確定で対応していく。

### 職員の綱紀粛正について

町としての対応は。

答弁 コンベンション施設、宿泊施設として大切。建物の耐震化に対する支援等は町として可能と思うが、契約の切れるH29年3月以降については、山王閣と大社の問題。

安心・安全の町づくりについて

質問 夜間反射ベルトの普及を。

答弁 安協下諏訪支部へ補助金等出して対応。町も独自に反射リストバンド、反射たすき等頒布している。

質問 「交通安全反射ベルト着用」を宣言したら、どうか。

答弁 町公用車への「反射ベルト着用」の表示やのぼり旗等で啓蒙に努めたい。「宣言」については、安協下諏訪支部の皆さんと検討してみる。

### 産業振興について

質問 山王閣の評価と、



林 元夫議員

### 少子高齢化・人口減少問題に

対処するための施策を、系列的に検証する

質問 子育てしやすい、働きがいのある街こそが、若い世代に選ばれ、地域を支える人材に溢れた活気ある街へと成長していく。子育てしやすい環境づくりとしての施策は。

答弁 教育こども課では、小中就学援助事業、子育て支援、子育て応援カードや子育てふれあいセンター運営事業など9事業以上あり、健康福祉課関連では、母子保健事業として、妊婦健診の助成や不妊症、不育症の治療費助成事業などがある。

質問 不妊治療などの

補助金は他市に先がけ行っている。子育てふれあいセンター運営事業では、ボランティアの協力を得ながら効率的に運営され、多くの子育て親子や高齢者及び地域住民の交流の場としてにぎわっている。こういう事業がもつとあれば良いが。

質問 そのような視点でやっている。

質問 無料となる歴史民俗資料館などで、子供と高齢者の交流を。

答弁 良い提案だ。

質問 帰町促進教育は

質問 帰町促進教育は。

答弁 ガーデンプロジエクトはじめ、地域活動や祭参加等を通じ、町に愛着を持つように。

### 高齢化対策事業

質問 高齢化対策は。

答弁 高齢者見守り事業、地域支援事業や高齢者応援カードなど。高齢者の声を聞き、内容を検証していく。

質問 「生きがいキャンペーン」や「健康マイレージ」を。

答弁 実態調査をして、検討する。

### 積極的人口増加施策は

質問 積極的人口増加施策である、婚活プロジェクトや移住コンシエールジュ事業などの進捗状況は。

答弁 地味でも確実に実績を上げている。

質問 老朽化する家屋解体工事への補助金は考えられないか。

答弁 国の法整備を待ちたい。







松崎茂彦議員

### 深刻な産業振興 後継者不足対策

**質問** 後継者不足から事業所の26%が廃業するとされる。この問題を放っておくと、町内の産業全体が失速する。  
**答弁** アンケートからは近い将来廃業の恐れもある。異業種との連携や、支援センター事業への参画をお願いしている。

### 完成品への挑戦

**質問** 活力ある魅力的な町づくりに、幅広い分野から事業可能性のある下諏訪発の統一完成品への挑戦を期待するが、いかがか。  
**答弁** 募集アイデアから可能性は検討しているが、商品化案件は無い。企業連携で新市場の展開を推進して

いる。

### 豊富な観光資源 活かそう風情！

**質問** 歴史の重みと温泉情緒、和楽器の響きなど風情を生かして、おもてなし響膳・懐石などの食事提供に官民で知恵を出しあつては。  
**答弁** 観光客のニーズにあった仕組みや料理の開発は重要。ぜひ旅館での昼食もとれるよう、財産区の温泉巡りとのマッチングも出来ればいい。

### 子どもの

### 減少懸念

### 今後の教育行政

**質問** 人口減少に関連し児童生徒数の減少が予想される中、取り組むべき課題は。  
**答弁** 培われる社会性、人間関係力を少人数での生活でどう練っていくかが大事。小学校同士の連携、小・中学校間の連携や地域との関

わりもより重要になる。

### 学力測定の指標

**質問** 学力把握に全国学力テストと並行して業者テストを実施する予定は。  
**答弁** 業者テストは結果が早く出るので、現在の状況を見るのに適している。実施は、学校判断による。

### 教育委員会の活動

**質問** 教育委員会の活動実施状況は。  
**答弁** 定例会議や参観など年間90回程の活動。会議傍聴者はなく、今後工夫する。報酬額は例年通り支給。

### 消防団員の処遇

**質問** 消防団員の充足率は。出動手当単価アップを。  
**答弁** 充足率は94.7%。災害出動手当は一回800円。諏訪地域の平均は766円。



津金裕美議員

### 「ゆたん歩」と

### 艇庫の改修計画

**質問** 健康スポーツゾーン構想の核となる高浜健康温泉センターのオープンが、4月26日と決まったが「ゆたん歩」への想いは。  
**答弁** 温泉施設だけでなく健康を意識して高齢者や子どもたちに活用してもらい、交流や憩いの場となつて欲しい。保健センターを中心に講座を計画しているので、町民にうまく活用してもらいたい。

**質問** 「ゆたん歩」では、温泉療養指導士と健康運動指導士の指導があり、期待が大きい。内容は。  
**答弁** 健康スポーツゾーン構想として、誰でも簡単に体力チェック

ができ、体力向上に取り組めるよう信大の「力」を借りて運動プログラムを提供したい。湖畔や高木運動公園を

利用して温泉浴効果と合わせた健康教室を計画している。温泉浴の効果を学べる講座として、中高年の安全な温泉の入り方、女性の美肌、子育てママ対象の講座も予定している。

**質問** 艇庫と練成の家。今後の改修計画と大勢が活用できる施設として欲しいが。

**答弁** 健康スポーツゾーン構想の最終が艇庫と練成の家である。H26年度中に検討委員会を立ち上げ、方向性を出していく。若者、壮年層の体力向上を目指す場所として、ボートの人だけでなく、一般の方も利用できるトレーニングルームも検討したい。現在の艇庫は手狭のため拡大する。また、ボートだけでなく水上スポーツとして、

カヌーの体験教室（公民館の講座）を年2回予定。

### 子育て支援

**質問** 保育園の職員がCSP「子どもとの接し方」プログラムを受講して資格の取得に期待するが、ねらいは。  
**答弁** 子育て支援センターでの保育者対象の講座の開催だけでなく、3園6人の保育士に資格を取ってもらい保護者への支援や保育士の資質向上にと考えている。

### 雪害対策

**質問** 2月の大雪では、町民が総出で雪かきをした。高齢化の進む町の対策は。  
**答弁** 地域の方が率先して雪かきをしてください。第3野球部の奮闘にも感謝する。区長会でも意見をいただいております。雪害対策マニュアルを次冬までに改訂をする。



小口 峯一 議員

### 成人式での国歌

#### 斉唱について

**質問** 当町の成人式で、国歌斉唱が行われていない。以前は歌われていた。なぜ、いつ頃からそのようなになったのか。

**答弁** 平成9年までは斉唱があった。それ以降、当事者が実行委員会を組織して運営する方式になってそのまま、歌われていない。

**質問** 周辺地域、全国での状況は。

**答弁** 岡谷市、富士見町は実施。県内では、長和町、松本市が実施。

**質問** 当町に於ける国歌の指導はどのように行われているか。

**答弁** 入学式や卒業式などの時に歌う歌として各学級で指導してい

る。

学校に校歌があるように、国にも国歌があり、国民皆が歌う歌であり、オリンピックでも、国を代表する歌として流されている。

**質問** 実行委員会に国歌斉唱について、投げかけてみることはどうか。

**答弁** 小中高と儀式的行事などの時に歌われてきた事に鑑み、実行委員会に投げかけてみることは可能かと思う。

### 赤砂崎の生ごみ

#### 処理施設の

#### 移転計画と処理

#### 法について

**質問** 赤砂崎防災公園の施設整備に伴い、生ごみ処理施設は移転するのか。

**答弁** いつとは言えないが移転する。

**質問** 事業の効果は。

**答弁** 現在、1684世帯が参加。昨年度238トンが持ち込まれ

た。焼却ごみ減量の効果は大きい。

**質問** ときおり悪臭が生じる。

**答弁** 迷惑をかけてお詫びする。処理量が能力を越す夏場に発生している、移転の際には、処理法も含めて、検討課題となる。

**質問** 将来的にはどのようにするのか。

**答弁** 生ごみ減容事業に参加する町民の皆さんに感謝し、移転や、方式変更についても、皆さんの思いを大事に考えたい。



藤森 スマエ 議員

### 子ども・子育て

#### 支援新事業に

#### ついて

**質問** 支援計画策定にあたってのニーズ調査と、表面化していないじめ、虐待はあるか。

**答弁** ニーズ調査は、児童クラブを位置づけた。いじめについては「対策委員会」で充分論議し、把握している。

**質問** 町の保育園は、現状のまま公立の方向で良いか。

**答弁** 予想より未満足は増えているが、当面は公立3園を守っていききたい。

**質問** 年長児の「えいごあそび」導入の狙いと目的は。英語特区の評価と、中学へのつながりは。

**答弁** 外国人講師のネ

イティブな発音に、遊びを通して体で感じさせる。子どもたちが楽しんでいのかを評価の観点にしている。

**質問** 春宮教職員住宅の跡地利用の構想は。

**答弁** 27年度に何らかの観光施設を造り、導線を作っていく。

### 星ヶ塔国史跡

#### 指定と黒曜石に

#### ついて

**質問** 国指定への経過と黒曜石展示室について。

**答弁** 「歴史あるもので、黒曜石出土の9割は下諏訪産である」との認識から、文化庁と相談し26年に申請する。展示室は、長和町のようにはいれないが、歴史をたどるにもいい場所と思う。

**質問** 町内の旅館の数と、トイレ改修の出来ていない数、伏見屋邸の魅力の分析は。

**答弁** 旅館は23軒、約

50%が未改修、伏見屋邸は「田舎に帰ってきたような暖かい触れ合い」に感動している人が多い。

**質問** 無料になる今井邦子文学館で、土産品を販売したら。

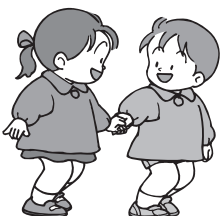
**答弁** 今迄博物館という位置づけだったのでハードルが高かったが、湯田の皆さんと相談検討する。

### 御田町の

#### まちづくり

**質問** 「がんばる商店街30選」に選ばれたが、下諏訪では認知されていない。

**答弁** 現在、雨水排水工事で迷惑をかけている。信号までは、3月末まで、歩道の仮舗装も検討する。





青木利子議員

### 男女共同参画の推進について

**質問** 男女共同参画社会の実現に対する基本的認識と取組みは。

**答弁** 審議会における女性の参画率の目標は今回も35%。女性役員の参画は毎年調査しているが各区への働きかけで徐々にだが着実に進んでいる。

**質問** 区長会での推進についてはどうか。

**答弁** 本年度に限ったことではないが、初めての区長会で男女共同参画条例がある旨、各区における推進委員の位置づけ等をお願い。また協働推進条例もあることから理解が深まるようにしている。

**質問** ワーク・ライフ・バランスの企業への働きかけは。

**答弁** 行政として企業

にお願いすることは難しい。町としては率先して雇用の関係や職員が働きやすい環境づくりに目指していく。

**質問** 若い職員や女性職員が増えてきているが、政策や方針の決定に係わる場に女性を増やし女性課長の登用を。

**答弁** 以前より「性差なくが平等」と思っている。能力ある方が課長なり管理職になっていくべきと思う。実力をもった女性課長が誕生してくれたら嬉しい。そんなに遠くない日に期待。

### 福祉施策では

**質問** 昨年の9月の一般質問で「障がいのある人に優しいまちづくりについて」で駅に車椅子専用の駐車場をお願いした経過があるが。

**答弁** 駅構内の事なので駅長さんの判断で設置。お願いをした経過はあるが、すぐに実現していたいたことは駅長さんに感謝。

### 学童クラブは

**質問** 新年度予算の備品購入事業の内容は。

**答弁** 南小の学童クラブ棟を26年度の3期工事で計画。南小と北小の学童クラブの備品の内容は座卓、テレビ、冷蔵庫、机等。

**質問** 学校生活とは違う場面もあるが。

**答弁** 学童クラブの指導員は南小に9人、北小に7人で研修を通じての研鑽、合同の定期的な集会等を通じて情報を共有。26年度は近年気になる子というか障がいを持つ子への対応について、信濃医療福祉センターの作業療法士さんの指導も受ける研修の計画がある。

**質問** 子どもの育つ環境について町は。

**答弁** 子どもは地域の宝である。施策についても多岐にわたり、子どもたちを育てやすい環境や子どもたちがのびのびと育つ環境をつくっていききたい。



濱 章吉議員

### ふるさと納税制度財源確保に活かす工夫を

**質問** 町の新たな財源確保への姿勢について。

**答弁** 国・県の交付金や補助金などの有利な財源の活用を図り、新たな発想で財源の捻出に努めている。

**質問** ふるさと納税で町に寄せられる寄附金は少ない。具体的な事業を示し、寄附者が使途を選択できれば寄附意欲が沸くのでは。

**答弁** 使途の分類について具体的に選べる標記を研究したい。

**質問** お礼に特産品を贈ることで、寄附額を大きく伸ばす自治体がある。当町も取り組みを強化をすべき。

**答弁** 全国の自治体の特産品を贈る状況があり、発信の仕方、お礼

の気持ちや特産品のあり方を研究するよう、担当課に指示した。

### 産業支援と

### 町の活性化に効果

**質問** 財源確保対策の継続的な効果がある。寄附者のすそ野拡大へプロモーション化やネットワーク構築を進めるべきだ。

**答弁** 今後の大きな課題として検討したい。

### 国道20号バイパス建設事業 前進

**質問** 下諏訪・岡谷区間(第一工区)について、関係区住民対象の説明会が開催され、町の受け止めは。

**答弁** 概略設計に対する要望や内容の確認を行い、関係地区の承認を得ることができた。

今後、年度内に幅杭を設置、平成26年度に詳細設計、平成27年度に用地調査に入りたい計画とのこと。



段階評価のアンケートについて。

**答弁** 諏訪地域の課題や道路整備の必要性を問うもの。一般家庭や産業界にも調査をし、結果が報告される。多くの回答があり、関心が高い。両市町の期成同盟会の啓蒙活動も心強い。

**質問** 両市町間、バイパスから現道へのアクセスは重要。今後の事業への将来展望は。

**答弁** ルート確定後の高木・大和の間から国道20号線へのアクセスを考えることは両市町及び湖周の観光産業からも良いので、国県の理解を得て今後検討して頂ければと思う。まずは、事業化に向けて両市町で歩むことが必要と考える。



小池忠弘議員

### 雪害対策本部

#### なぜ未設置か

**質問** 2月の2度にわたる大雪は災害。雪害対策本部の設置はマニュアルで30センチだが、何故立ち上げなかったか。

**答弁** 除雪対応状況や降雪継続の予想がなく、必要なしと判断した。

**質問** 本部設置で除雪指示が出る形式だ。除雪車が来なくて、住民が必死で雪かきに追われた。

**答弁** 町除雪は47路線だが、業者の作業が追いつかなかつた。今後マニュアルの見直し、初動体制の迅速化を図る。  
**質問** 高齢化が進み除排雪は困難になる。各区への除雪機貸与も効果的だが、実態に合う

補助制度も考えたかどうか。

**答弁** 除雪機にも限界があり、除排雪ボランティアなどを含め検討したい。

#### 予想の大地震

#### 住宅耐震強化は

**質問** 個人住宅の耐震化が進まない。大地震に備え、促進の必要がある。

**答弁** 今年度は補強工事2件の実施。新年度からは簡易診断を廃止し、精密診断からなる。補助制度をPRし、少しでも住宅耐震を進めたい。

#### 温泉事業の現状

#### 課題の対応策は

**質問** 温泉給湯を停止する事態が頻発している。原因と対応策は。

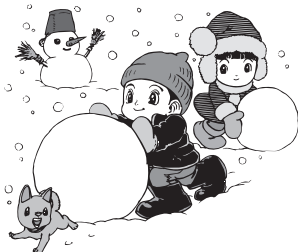
**答弁** 源泉温度が高く、ゴムやパッキンの劣化で漏湯する。仕切り弁の設置で影響範囲をせばめる方策で、410ヶ所中68ヶ所は設置済

み。  
**質問** 新規掘削調査の考え方は。

**答弁** 温泉井戸の寿命は15年から20年。町の温泉は寿命を迎えている。安定供給のため新たな候補地選定、井戸の設計の二次調査を検討中。新年度詳細設計を経て、温泉開発計画を策定する。

**質問** 契約者減少について、諏訪市では加入金を大幅に減額し、新規加入を促進しているが。

**答弁** すでに契約している人との関係で、手は付けられない。



金井敬子議員

### 住民負担軽減策

#### 拡充を

**質問** 物価は上がり続けているのに収入は増えず、消費税率引き上げを前に既に地域からは悲鳴が聞こえている。国民いじめの荒波から町民を守る防波堤の役目を、町に期待する。町単独事業である生活応援商品券事業の内容は。

**答弁** 6月1日を基準日に、前回同様の対象者に使用期限半年の商品券を、民生委員さんを通じ6月中に配布。

**質問** 消費税率引き上げに伴う低所得者への配慮は、一時の手立て。今後益々厳しい生活を強いられる町民の苦難を掴み、配慮を。  
**答弁** 消費税増税により、町民の生活に苦勞

が生じることと思う。商店に対する経済的対策も必要になるだろう。低所得者に充分配慮し、相談等にものついていく。

**質問** 町奨学金の貸与金額の増額を。また、卒後町内に戻ってくる者に対して返還債務を免除する方式は考えられないか。

**答弁** H23年度に見直した貸与額は、近隣自治体と比較しても低くない。無償貸与は困難だが、地元就業の場合の返済免除については検討する。

**質問** 県は来年度から、県道路公社管理の3区間について、財源を県と地元市町村で分担して通勤時間帯の料金を半額にするとしているが、新和田トンネルの一日も早い対応を望む。また、早期の無料化を望むが。  
**答弁** 県の要望は「市町村窓口での割引回数券販売」であり、事務

作業が煩雑。かつ通勤時間帯のみの割引では、全体の軽減を求め声には応えていないため、引き続き無料化を要望していく。

#### 特定秘密保護法、集团的自衛権の行使

#### 「国の進め方は

#### 拙速」と町長

**質問** 昨年12月の法成立後も、国民に対する十分な説明はされていないが、「特定秘密保護法」について町長の見解は。

**答弁** 情報社会の中で、国の秘密保護はある程度必要だと思いが、国民への説明責任が果たされていない今回の進め方には異論がある。

**質問** 「集团的自衛権」についての町長見解は。  
**答弁** 安倍首相の進め方は拙速すぎる。国民に対する説明責任を果たすべき。



中村國彦議員

### 水資源保全条例 と保全地域指定

質問 県の条例制定後、諏訪地域連絡会議が行われているが状況はどうか。

答弁 県は現在地下水の賦存量調査を実施している。調査結果を年度ごとに公表していく。

質問 諏訪地方の各自治体で、水資源の状況はそれぞれ違っている。町独自の条例案を作れないか。

答弁 県から、湖周2市1町で、と指導がある。地下水の賦存量を把握した上で規制を検討していく。

質問 保全地域指定についてどう考えるか。

答弁 町としては、武居の汁垂水源周辺27ヘクタールを、来年度中に指定準備を進めていく。

質問 町内企業の井戸所有状況と使用状況また、個人井戸の数は。

答弁 5事業所で井戸を所有し、2事業所が飲用水としている。個人井戸は4箇所が飲用には利用していない。

質問 南海トラフ巨大地震のリスクが高まる中、水道管の耐震化は急務であるが、今の進捗状況では完了までに100年かかる、耐震化予算を厚くすべき。

答弁 全体予算の中で、適切な予算配分をしていく。26年度は、町道一ツ浜通り線、東赤砂線、田中線等、総延長1キロ強の布設替えを予定している。

### 砥川の治水対策 について

質問 砥川の河川改修

工事が進んでいるが、今の工事が完了した後、基本高水の再検証をして沿線住民が納得し安心できる流域対策の全体像を、早期に示すよう県

に要望を強くして欲しい。

答弁 今現在は、全県的に50年確率雨量による工事を行っている。今の工事を、予定通りに完成させることが第一であり、それが安心につながる。その後での交渉となる。

質問 烏帽子岩の復元についてはどうなっているか。

答弁 毎年要望しているが進まない。また、近じか着手の予定は無い。

### 医療機関の誘致 について

質問 町内の眼科・耳鼻咽喉科の軒数は。

答弁 耳鼻咽喉科0、眼科1軒という状況。

質問 眼科は1軒で、予約制で急患も診察できない状況。何とか誘致できないか。

答弁 高齢化が進む町内においては、大切な診療科であるが、医師不足が深刻で開業医を目指す人がいない。国・県に要望を続けていく。



河西 猛議員

### 景気動向と ものづくり支援

質問 製造業の景気感

はどうか。

答弁 受注増だが2月に一服感があった。自動車関連を主に増産傾向で、機械設備分野も悪くないが、企業間格差は大きい。

質問 ものづくり支援センターの動きはどうか。

答弁 昨年4月から2月までに634件の案件があり、330件を受注。昨年同期の約3倍。支援センターは丸3年を終える。今後は事業を見直しながら1年毎に成果をしっかりと検証して進めてもらう。

### 自転車の安全 について

質問 高額な賠償を伴う自転車対歩行者の重大事故が全国的に増えている。安全対策を講じてほしい。

答弁 道交法改正で路側帯左通行の厳守やブレーキなし自転車を厳しく取り締まる。悪質なものには罰金も。諏訪署などの啓発チラシがあれば回覧する。おかげさまで町内でそういった事故の報告は無く、子ども、高校生のマナー向上が見られる。地域全体で安全意識を高めたい。



ちょっと知りたい、  
議会のアレコレ

### ? 陳情とは?

特定の事項について利害関係のあるものが、議会などに実情を訴え、処置を要望する行為のことで、議員の紹介は不要です。提出された陳情を議長は常任委員会に付託し、審議された結果は本会議に報告され、採択か不採択かを決定します。

## 滞在型観光への取組みや発電所を 研修視察………総務経済常任委員会

平成25年11月12日から3日間、岡山県倉敷市と滋賀県長浜市で視察研修を行いました。

研修は主に観光客の夜間を含めた滞在時間延長や体験、体感型観光への取り組みです。倉敷美観地区等において倉敷名物カリスマガイドから「観光客から僅かな料金を頂くシステムで会を維持している」と歩きながら説明がありました。特に外観は古民家ですが、れっきとした証券会社の建物で社内では社員のみなさんが働いている姿に印象が残りました。

2日目の水島コンビナートでは中



中国電力水島発電所にて

国電力(株)水島発電所の産業観光視察で、特徴は「ガスタービン発電」と「蒸気タービン発電」を組み合わせた、発電効率の高いコンビナード発電方式で、観光のメインにしていることです。次の児島ジーンズは学生服で培った技術を生かして興したジーンズ発祥の地です。一時はたいへん栄えた地域でしたが、海外で生産された低価格のPBジーンズに市場を奪われ苦戦している中で、販売店をレトロな雰囲気のある商店街に集積させるジーンズストリート計画を始めたことから、ジーンズ販売店やカフェデニムなどの個性豊かな店が並んだことによりお客さんで賑わっていました。

3日目は長浜市にある日本アドバンストアグリ(株)植物工場の見学です。完全閉鎖型植物工場で人口栽培を通じ「いかに植物が健全に育つ環境を人為的に作り出すのか?」などに取り組んでいます。工場は空工場を利用し、経費も高齢者等を雇うなどのコストを抑えた経営がなされて参考になりました。

(副委員長 青木 利子)

## 図書館・保育園・リサイクルセンターを 研修視察………生活文教常任委員会

平成25年11月12日から14日まで研修視察を行いました。

1日目は、東京都練馬区の南田中図書館で「学校図書館支援モデル事業」について視察。この図書館は、「指定管理制度」を導入し(株)図書館流通センターが、管理運営を行っていました。

この事業の効果と課題は、区立図書館と学校図書館の連携が推進されたこと、また人的配置による学校図書館の活性化が進み、平成25年度、「子ども読書活動優秀実践校」として、文部科学大臣より表彰されました。

2日目は、川崎市川崎区のJFEアーバンリサイクル(株)で家電リサイクルについて研修。限りある地球資源の循環の一翼を担い、人と地球の未来に貢献するを合言葉に、隣接する製鉄所と連携して、鉄やプラスチックを製鉄原料とし、一貫した処理で高い再資源化率を達成していました。

3日目は、横浜市西区の「あそびの杜保育園」を視察。待機児童が多い都市部の保育園で、住宅に囲まれた、敷地面積118・48平方メートルの鉄筋コンクリート2階建てで屋



あそびの杜保育園にて

上が園庭になっている、見落としてしまう程の小さな保育園でした。

以下は施設長の相馬先生との懇談の内容です。子どもの育つ環境が貧しい要因が多い、また育てる力も弱くなってきたことから、子どもを育てるには乳幼児期が最も大切と思ひ、この保育園を作った。生活リズムを大切にし、テレビなしの生活、親子のコミュニケーションをとる、夜しっかり寝ることを優先している。子育ては皆でやると楽しい、不安が無いことから、4人産む人が多いという事です。子どもたちと同じメニューで昼食を一緒にとり視察を終りました。(副委員長 藤森スマエ)

## 議会運営委員会 視察報告

議会運営委員会の視察研修は1月20日から22日の3日間、平成24年度の全国町村議会議長会で表彰された埼玉県松伏町、東京都瑞穂町、神奈川県山北町で行われました。主な研修項目は「議会改革に関わる事項」や「災害時において議会がどのように対応しているか」などです。

松伏町の議会改革における反問権は「一般質問における趣旨と内容の確認」です。一般質問の「男女共同参画推進」において反問権が実際に行われました。

「傍聴者への資料配付、貸出」は傍聴の申請時に議案書、予算書、決算書を議会事務局から貸し出され、審議の内容がわかりやすくなったとの反響があったそうです。

「本会議の中継」は、議場にテレビカメラ3台を設置し、モニターを町民向けと、傍聴者用と執行部用に置いてあり、「気軽に傍聴できる」と喜ばれているようです。

瑞穂町の「災害に強いまちづくり」は、東日本大震災の教訓から「災害時に議員・議会がどのように行動し、どのような役割を担えるのか」が検討



瑞穂町議場にて

され、「災害対策マニュアル」ができました。また「本会議のインターネット中継」のネット配信は、「見たい、知りたい」情報に気軽にアクセスができるようになりました。

山北町でも東日本大震災の教訓から、災害発生時の議会・議員の行動についての規定ができました。

今回の視察から、危機管理については町議会基本条例に反映させることや、災害時の議会マニュアルの作成やインターネット配信は今後の検討課題となりました。

(副委員長 青木 利子)

## 砥川治水・赤砂崎防災 公園化等対策特別委員会 視察研修報告

2月5日、つくば市の防災科学技術研究所NIEDにて研修。ゲリラ豪雨と、土砂災害防止について講義を受けた後、大型耐震実験施設や自然災害研究を進めている施設内を視察しました。狭い範囲で短時間毎の降雨量を表示できるマルチパラメーターレーダーの有効性や、避難等に有効な情報をいかに素早く住民間で共有し危機感を持つかが課題である事を改めて学びました。



備事業内容等お聞きし、設備や防災倉庫内を視察しました。

(副委員長 金井 敬子)

## バイパス対策特別委員会 視察研修報告

本年1月、蒲郡バイパス道路の内、蒲郡ICから幸田町区間5.9キロ間、本年春、開通予定個所の視察です。5つのバイパスで構成する名豊道路が一本につながり、広域バイパスが形成され、アクセスが向上するものと、期待されています。

続いての視察は、シーサイドリゾート地「ラグーナ蒲郡」です。車で2時間以内の観光客を集めようと、地域の連携と地域資源の活用に力点



をおき、バイパス建設の早期完成が望まれています。

次に、飯島町と駒ヶ根市間で、バイパス建設が進められている現場です。

既に開通した区間の渋滞損失時間、年間9%減少したこと、飯島町では、救急車「6分救急」圏域人口が3割向上で9割に及ぶこと、消火の際には、対象建造物が約2割拡大の効果が出ています。

(副委員長 濱 章吉)



議長就任以来、大変ですねとか、体に気を付けてとか、ご心配いただき、ありがとうございます。

慣れないことで戸惑いも失敗もありましたが、その中で「シ これは役得か」とにんまりしたことを紹介します。

昨年十一月に商工会議所主催の姫コンテストに、審査員として参加しました。十三人の応募者はいずれ劣らぬ美人揃い、質問者の方が上がり気味でしたが、厳正な審査の結果三名の方が当選しました。最後の記念撮影で一番うれしそうな顔をしているのはどなたでしょうか。いや楽しいひと時でした。



二月には下社の節分追儺式ついなにお呼ばれました。初めて着せてもらった袴かましもに刀を差し、手水を使った後春宮へ行って神事、宝投げ、その後秋宮へ戻り、玉串奉奠、宝投げ、と初めての得難い経験をさせてもらいました。が、そこで大失敗、着せてもらった袴が着くずれでしまい、下帯が解けて、何とも締まらない格好に。そこで助けてくれたのが町長、慣れた手つきで着付け直し。いやこの時の町長は優しかった、ですよ。議会のない日も、午前中は議長室におります。役場にお越しの節はぜひお立ち寄りください。

## 《議会雑感》



### 暮らししやすい町を求めて 住民との話し合いの場を！

清水町 菊地 繁さん

このたび発刊になった議会だよりを読ませて頂きました。七年振りということで、新鮮な感じがありました。議会は難しく、遠くのような存在でしたが、本誌で少し身近な気分になりました。特に近頃は災害、環境、高齢化という問題が、全国各地いたるところで叫ばれています。この下諏訪でもご多分に漏れず、多くの分野にわたる課題を抱えている様子

です。解決には、多くの人の意見を聞くことが必要と思えました。議会だよりも活用したいところです。議会に対する提案として、住民との話し合いの場を開いて頂きたいと思えます。これにより、より多くの意見が反映されて、暮らしやすい町となることを期待したいと思えます。ご検討よろしくお願ひします。

議会だよりと言えば、正確さがまず求められます。それが故に、内容が硬くなつて面白みに欠けてしまいます。下諏訪らしさをどのように表現するか。わかりやすいインパクトのある内容をどうするか。日々、模索の連続です。いかに手に取っていただくかを考えて、表紙を作っています。下諏訪と言えば、諏訪大社、御柱や歴史でしょう。「こんなにしמושわ町議会です」



### 後記 編集 編

の「こんなにちは「です」の図形は、きらりと光る星をかたどり、絵馬をイ

す。宗教色はできるだけ避けて、説明しなければわからない程度に。これが私たちの「奥ゆかしさ」ですか(笑) 議会基本条例の制定と共に、議員資質に磨きがかかるべく勇往邁進します。議会だよりも進化させねば。(M・H)

編集委員会委員長

金井 敬子

副委員長

林 元夫

委員

松崎 茂彦

委員

中山 透